

寛平三年(八九一)十月二十九日、七十八歳をもって入寂され、後に醍醐天皇より「智証」の大師号が贈られました。

な三井寺へ帰りたいのか!」と怒って鐘を谷底へ投げ捨ててしまったのです。その時のものと思われる傷痕や破目などが残っています。

「伝説」左甚五郎の龍

三井寺の名称が生まれた霊泉關伽井屋の正面には、有名な左甚五郎作と伝えられる龍の彫刻があります。むかしこの龍が夜な夜



な琵琶湖に出て暴れたために、困った甚五郎が自ら龍の目玉に五寸釘を打ち込み静めたと伝えられています。今もこの龍は、静かに關伽井屋の正面で三井寺を見守っています。

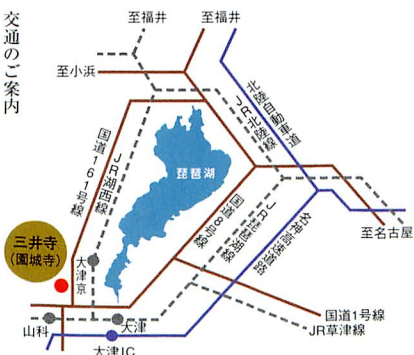
◎ 主な年中行事

一月一日	修正会
一月八日	仁王会・寒中説法
二月節分	尊星王星祭
三月	彼岸中日法要
四月	三井古流青山茶会
五月中旬土日曜日	三井寺千团子祭 (鬼子母善神開扉)
七月第二土曜日	三井寺札焼
七月二十二日	本山探灯大護摩供
八月六日	原爆犠牲者慰霊法要
八月十五日	三井寺鐘供養 盆法要
九月	彼岸中日法要
十月二十九日	智証大師御祥忌法要
十二月三十一日	三井古流紅楓茶会 三井晚鐘除夜の鐘

天台寺門宗

総本山園城寺「三井寺」

〒520-0036 滋賀県大津市園城寺町
電話〇七七・五二二・二三三八(代)
西国十四番札所・観音堂
電話〇七七・五二四・二四一六



交通のご案内
○JRびわ湖線/大津駅下車、京阪バス三井寺下車
○JR湖西線/大津駅下車、京阪バス三井寺下車
○京阪電車/京阪石坂線三井寺下車、徒歩10分
○名神高速道路/大津ICより湖岸道路経由約10分
○国道1号線/国道1号線より国道161号線経由約10分

総本山園城寺

三井寺

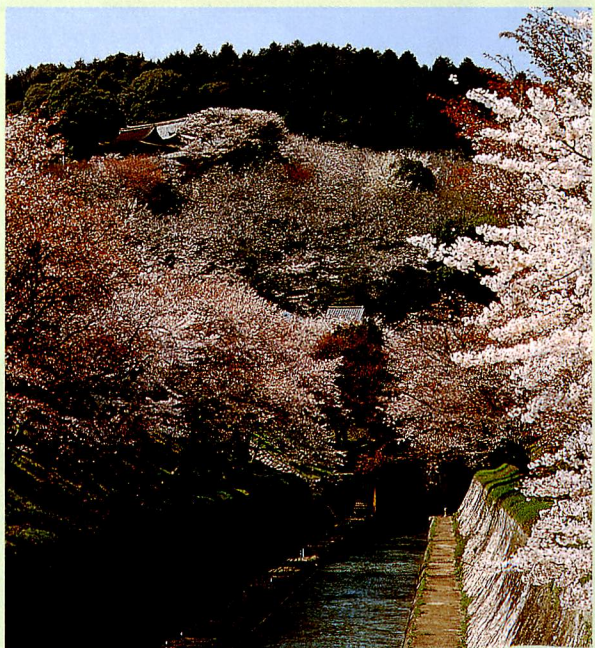


重文・勸学院模絵 狩野光信筆

園城寺「三井寺」

園城寺(三井寺)は、天台寺門宗の総本山で、古くから日本四箇大寺の一つに数えられています。その歴史をひもとくと、天智・弘文・天武天皇の勅願により、弘文天皇の皇子・大友与多王が田園城邑を投じて建立され、天武天皇より「園城(おんじょう)」の勅額を賜わり、「長等山園城寺」と称したのにはじまります。俗に「三井寺」と呼ばれるのは、天智・天武・持統天皇の産湯に用いられた霊泉があり、「御井(みい)の寺」と呼ばれていたものを、後に智証大師が、当寺の厳儀・三部灌頂の法水に用いられたことに由来します。

長い歴史の上で、当寺は再三の兵火にあい焼失しましたが、豊臣氏や徳川氏の尽力で再興され、現在も国宝・重要文化財・名園など貴重な寺宝を数多く伝えています。



びわこ疏水より観音堂を望む

